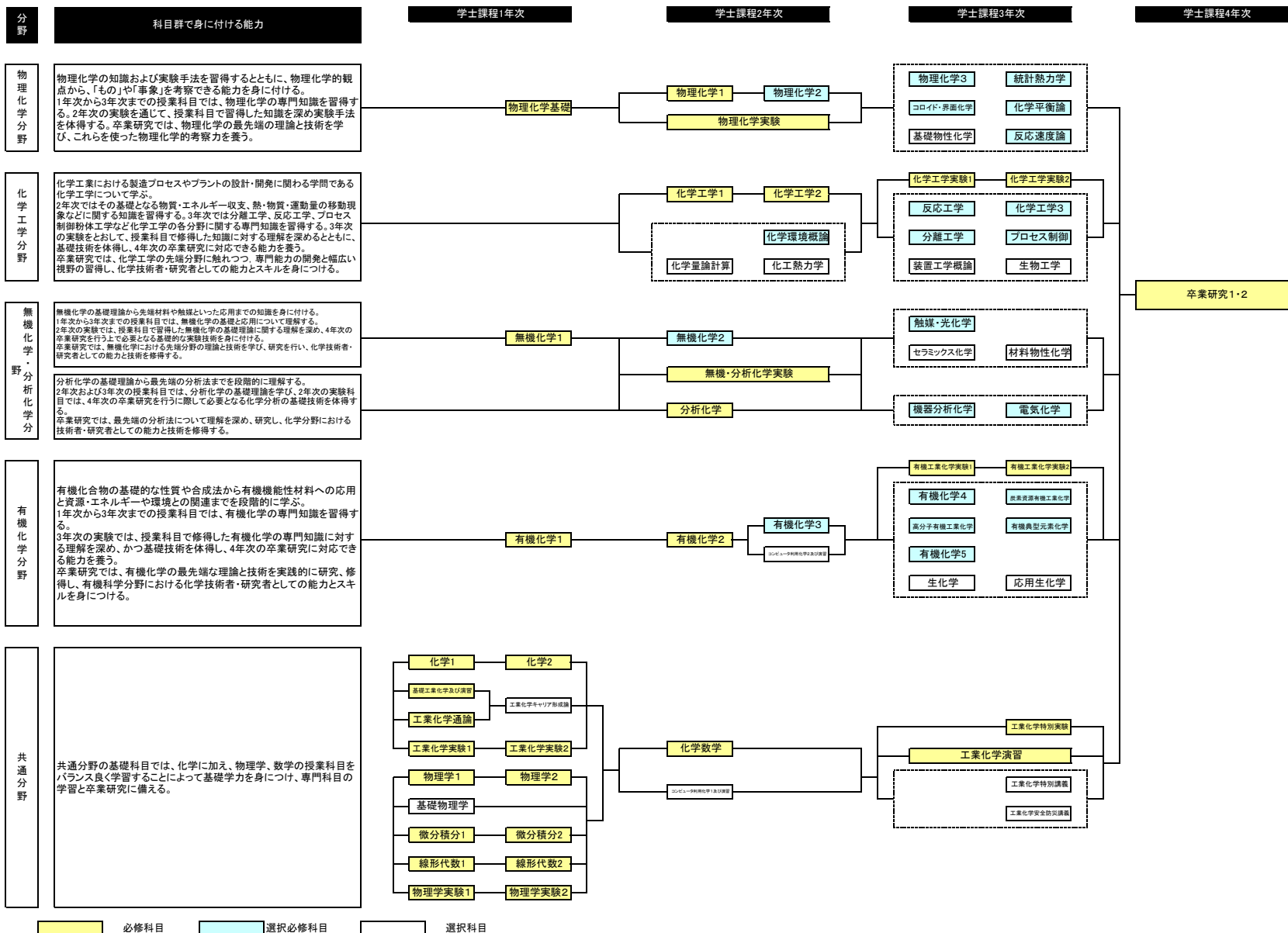


人材育成等に関する目的

工業化学科は、人類に必要な物質やプロセスを創製する為に必要な教養、基礎、専門知識を教授し、将来自らこれらの研究開発ができる能力を育成することを教育目標とする。

カリキュラム・ポリシー

1. 建学の精神と、「自然・人間・社会」との関わりを基盤とした科学的発展の目的の達成と技術の創造という教育研究理念に基づいて、学科が定める「人材育成等に関する目的」を実現するための学士(工学)の教育課程を編成する。
2. 真に実力を身に付けた学生のみを卒業させる「実力主義」の価値を堅持し、厳格な教育課程を実施する。
3. 段階的な知識の修得を図るため、一般的素養を高めるための「基礎科目」、工学分野における各専門分野の基礎となる「基礎科目」、工業化学分野における研究者・技術者等に必要能力を養うための「専門科目」の3種類の授業科目を体系的に配置する。
4. 工業化学分野で活躍するものへの「ITリテラシー、国際性、コミュニケーション能力、問題発見・解決力、協働性」を育成する。
5. 「一般教養科目」では、自然・人間・社会を幅広く俯瞰する能力、判断力・行動力を養成し授業科目を効果的に配置する。
6. 実習科目については、実践的に応用化学工学の能力を養成し、卒業論文発表までを履修する。
7. 「基礎科目」では、1年次より基礎基礎科目、「専門基礎科目」の授業科目を効果的に配置し、併せて学生が自ら学ぶ学習時間を確保し、基礎力を強化した上で、「専門科目」の修習を促す。
8. 「専門科目」では、深遠な知識、多岐の知識・学習中の授業科目を重点的に二科目以上を履修することで工業化学分野の専門知識と技術を高め、併せて他の授業科目との関連や学習効果の方法を学ぶ。
9. 学士課程の卒業後として、最終3年次に卒業研究を実施する。
10. 自身の専門分野を超えて幅広く関心のある科目を履修できるよう、他学部・他学科の科目の履修や大学院科目の先行履修を可能とし、学生の学習意欲の向上を図り、多様な学習ニーズに応える教育課程とする。



■ 必修科目    ■ 選択必修科目    ■ 選択科目